

肝芽腫臨床研究(JPLT-2,3)に参加された患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に関する情報)

JCCG 保存検体利用研究として、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、JPLT-2,3 臨床研究の付随研究として保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 肝芽腫エピゲノム解析による治療層別化を目指した予後予測分子パネルの開発

[研究機関] 北海道大学大学院医学研究院 消化器外科学教室 I

[研究責任者] 武富 紹信
北海道大学大学院医学研究院 消化器外科学教室 I ・教授

[研究の目的] ①先行研究で得られた肝芽腫の DNA メチル化解析に基づく予後予測マーカーを validation cohort を用いて解析・検証し、臨床応用を目指した予後予測分子パネルを作成する。
②見出した新規がん抑制遺伝子の証明に、DNA メチル化率と mRNA 発現量を比較する。

[研究の方法]

- 対象となる患者さん
肝芽腫の患者さんで、2010 年 11 月から 2020 年 3 月までの間に手術を受けた方
- 利用する検体およびカルテ情報
検体：手術時に切除された肝芽腫および正常肝組織の一部
カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査）、その後の経過。
- 解析内容
肝芽腫腫瘍のみに生じている遺伝子異常を調べる。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、主治医にご連絡ください。また本研究に関しましてご質問などございましたら下記までご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目
北海道大学病院 消化器外科 I
担当医師 本多昌平
電話 011-706-5927 FAX 011-717-7515